

9月25日正午必着

明石春浦先生書



游魚動<sub>ゆうぎよりよくかをうごかす</sub> 緑荷<sub>りよく</sub> (陸游)

池の魚が蓮の葉を動かしてたわむれている。

明石幸子書



雲邊月色人千里、竹裏秋聲酒一壺 (陳普)

雲間の月は千里はなれた人をてらし、己れは一壺の酒を酌んで竹林の秋声をきく。

山里の朝三暮四てうさんぼしやこぼれ栗（老鼠堂機一）  
 長沙卑暑地 九月未成衣  
 洲白蘆花吐 園紅柿葉稀  
 水光浮日去 霞彩映江飛  
 晚景寒鴉集 秋風旅雁歸

芙蓉零落秋池雨  
 楊柳蕭疎曉岸風  
（崔致遠）

岳陽晚景（張均）

岳陽の晚景（張均）  
 晚景寒鴉集 秋風旅雁歸  
 水光日を浮かせて去り 霞彩江に映じて飛ぶ  
 洲は白くして蘆花吐き 園は紅にして柿葉稀なり  
 長沙は卑暑の地 九月 未だ衣を成さず

芙蓉零落す秋池の雨、  
 楊柳蕭疎たり曉岸の風。  
 芙蓉は蓮。池に秋雨ふって蓮花散り落ち、岸べに曉風吹いて  
 楊柳物さびた姿である。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

秋雲静ニ晩天（呉均）

秋雲晩天に静かなり。

秋の雲は夕暮れの空にただよう。

秋盡寒心不可留  
 劍光冲暮雨  
 霜氣冷征裘  
 送君從此去  
 濯足大江流

雨宮春聲先生書

秋盡寒山出 羈人不可留 劍光冲暮雨 霜氣冷征裘  
 蕪北黃金貴 淮南桂樹幽 送君從此去 濯足大江流

（喬介）

半紙部規定課題A

9月25日正午必着

此 懸  
心 矣  
言 訝

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

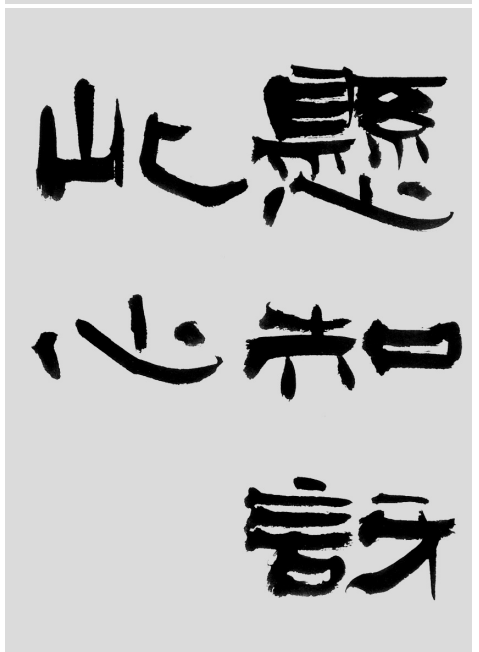
半紙部規定課題B

9月25日正午必着

行書



隸書



明石春浦先生書

草書



行草書



徳高き上人、本来の姓は竺といひ、菩薩のごときお方、もとの名は林といひ、  
 いったん春山の中に行っておしまいなれば、数知れぬ峰々の奥、お尋ねすることもできません  
 新たなる年に、春のかぐわしい草があたりいちめん茂り、一日じゅう、白い雲は深くとざしこめる  
 ささやかな官職にこの身を捧げて行こうとしておりますが、この凡俗の心を奇妙に思っておられることが、ここからでも  
 わかります

寄「靈一上人」

劉長卿

高僧本姓竺

開士舊名林

一去春山裏

千峯不可尋

新年芳草遍

終日白雲深

欲徇微官去

懸知訝此心

靈一上人に寄す

劉長卿

高僧 本姓は竺

開士 旧名は林

一たび春山の裏に去り

千峯 尋ね可からず

新年 芳草遍く

終日 白雲深し

微官に徇って去らんと欲す

懸かに知る 此の心を訝るを

(出典)

朝日新聞社刊

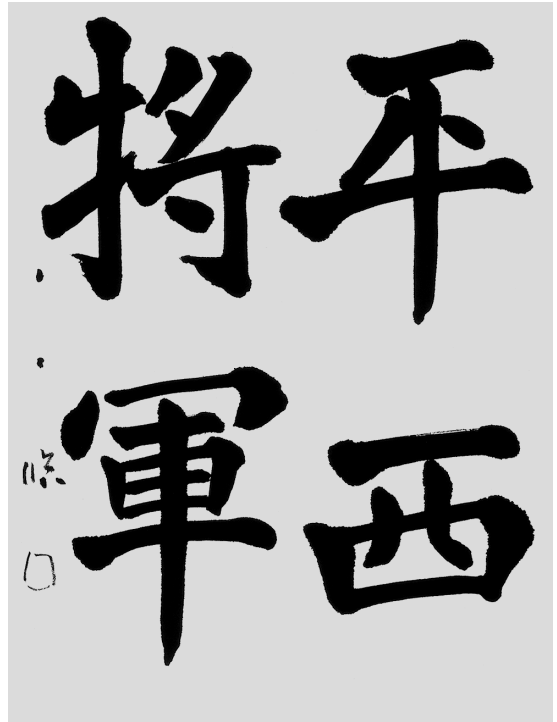
「三体詩」下より



七世祖素。軌之第三子。晋明帝太寧中。臨羌都尉平西將軍西海晋昌金城武威四郡太守。  
 七世の祖の素は、軌の第三子にして、晋の明帝の大寧中、臨羌都尉・平西將軍・西海・晋昌・金城・武威四郡の太守たりて、



七世の祖の素は、軌の第三子にして、晋の明帝の大寧中、



平西將軍

北魏張猛龍碑

清朝の中頃、阮元が南北書派論・北碑南帖論を著わしたり、包世臣が北碑の美を称揚してから北碑が次第に親しまれるようになった。更には、清末には康有為が出て一層北碑の価値を高め、その余波は我日本にまでも及んで今日に到っている。

この碑は宋代にすでに著録されているもので、古くから知られていたが、先の識者達に絶賛されてから北碑の代表的名品として、世人に注目されるようになった。

北魏の魯郡の太守をしていた張猛龍の徳行を頌するために建てられた碑で、碑額には楷書で「魏魯郡太守張府君清頌之碑」と十二字が三行に陰刻されている。碑文は楷書で二十六行、一行には四十六字刻されている。

結構はやや長方形に引きしまり、転折鋭く、書風は峻整で森嚴（身が引きしまるようにおごそかなさま）、用筆は健勁を極め、一種清高の気を帯びた作で六朝楷書の代表とされる。

この碑よりわずか三年前に建てられた「賈思伯碑」は、題額の様子から書風まで非常に似ており、同筆ではないかと思われ、研究すべき資料とされている。（春廣）



いな  
稲

ほ  
穂

中学一年

雨宮春聲先生書



まき  
蔭

え  
絵

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



きょう 都  
京 都

小学五年

榎戸春龍先生書



みち するべ  
道 標

小学六年

横川春川先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



9月25日正午必着



写

生

小学三年

藤田幸春先生書



名

作

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

ま つ 小学一年・幼年



明石幸子書

ゆう じん 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

毎日くりかえし漢  
字を学しゆうする

小学五年

体育の時間に飛び  
箱のテストがある

小学六年

自分の想像力を生か  
して物語を作ろう

中学

初秋の空気がさわやか  
な季節となりました

一般(級位)

白露も時雨もいたくもる山は下葉のこらす色つきにけり(紀貫之)

白露も時雨もいたくもる山は  
下葉のこらす色つきにけり

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。  
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

る	て
り	つ
と	ぼ
ま	う
わ	で
っ	
た	く

幼年

て	水
ん	べ
ご	は
く	と
で	ん
す	ぼ
	の

小学一年

さ	森
な	の
い	な
け	か
が	に
あ	
る	小

小学二年

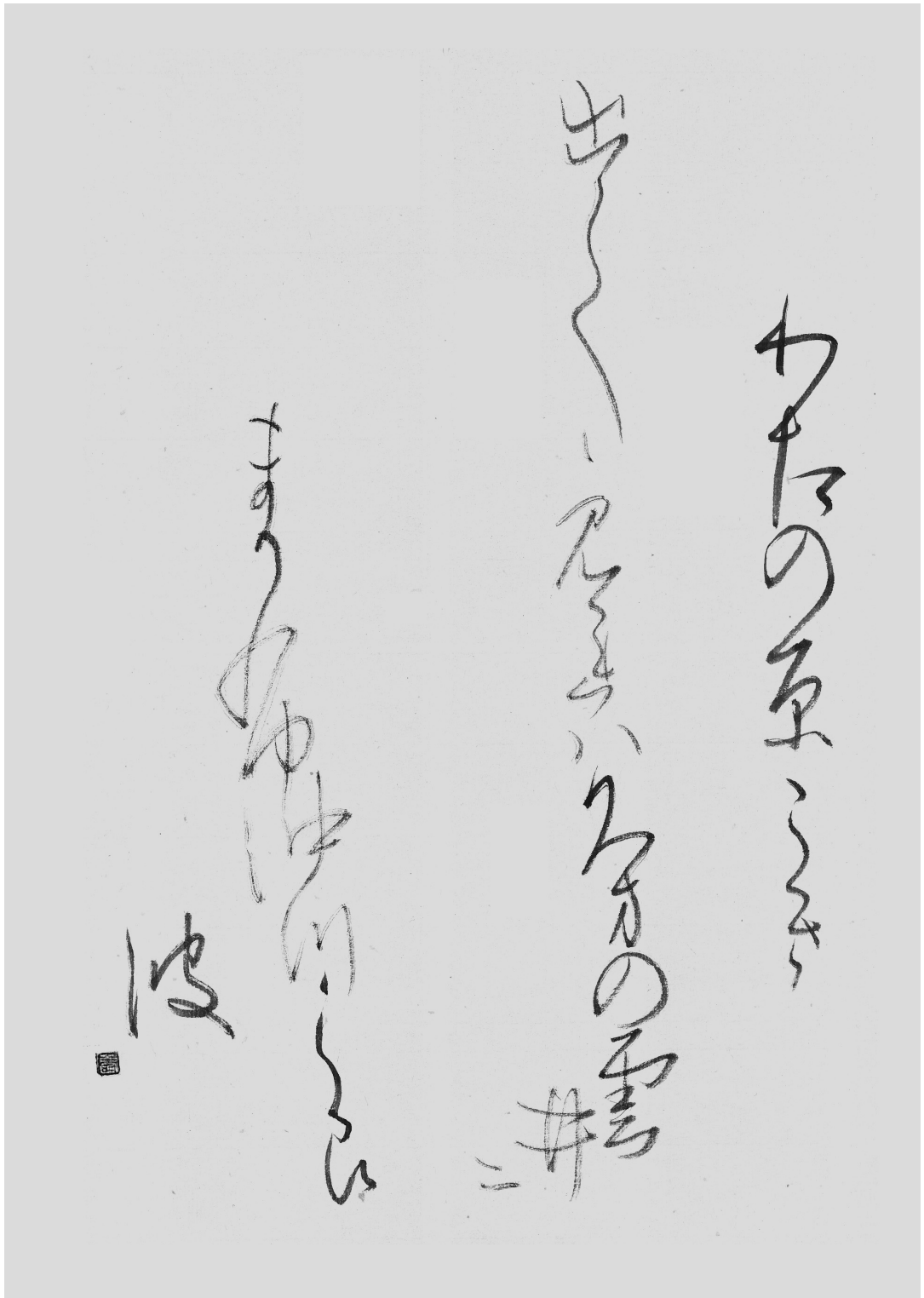
せ	光
ら	に
れ	強
る	く
虫	ひ
た	き
ち	よ

小学三年

な	駅
デ	の
パ	周
ー	辺
ト	に
が	は
あ	大
る	き

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。  
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



岩本景楓先生書

わたの原 こそいで、見れば 久方の 雲ゐにまがふ 沖つしら波  
天 連八 井二 可布 川之良

(果てしなく広がる海原に舟を漕ぎ出して、はるかかなたをながめると、  
 白い雲と見まちがえるばかりに、沖の白波が立っていることよ。)

(藤原忠通)